在新高炉メーカートップ

地区鋼材需要動向を聞く

建築厚板、首都圏向け堅調

鉄骨溶接ロボでユーザー貢献

神戸製鋼所・三木 基新潟支店長

――上期を振り返って。

「鉄鋼事業部門は建材向け厚板が中心。大型物件がほとんどなく県内建築需要は低水準にとどまった。しかしHグレードのファブリケーターさんは首都圏を中心とした県外物件でおおむね稼働は堅調で、当社の受注も順調だった。溶接事業部門では県内ファブリケーターさんの堅調な稼働により溶接材料の消費は、高水準で横ばいとなった。また溶接ロボットシステムはファブリケーターさん2社で導入いただいた。コベルコ・コンプレッサでは消費増税前の駆け込み需要の反動の影響は小さく、売り上げは堅調だった。建設機械は排ガス規制前モデルの駆け込み需要、消費増税前の駆け込み需要の反動が重なり、新潟県の重機ショベルの上期総需要は前年同期比3分の2まで減少した。コベルコ建機は7月に支店管内で展示会を開催するなど、業界1の低燃費をPRし予算を何とか確保した」

――下期の見通しは。

「建築用厚板では県内建築需要は上期と大きく変化はないと考える。Hグレードファブリケーターさんは来年以降動き出す首都圏案件でも順調な受注をされており、来春まで繁忙感が続く見通し。当支店は引き続き地元案件で営業展開を図るとともに、東京と連携し首都圏案件でも受注に結びつけていきたい」

「溶接事業部門は県内のファブリケーターさんの堅調な生産により、溶接材料の消費は高水準を維持すると見る。溶接ロボットシステムについてもすでに数件引き合いをいただいており、受注につながるよう努力している」

――戦略商品は。

「当社は溶接材料に加え、鉄骨溶接ロボットシステムでもトップシェアを誇る溶接総合メーカー。REGARC（レグアーク）はスパッタ発生量を劇的に低減できるなど付加価値の高い新溶接法。REGARC登載の溶接ロボットを使えば自動化による省人化、夜間運転による生産性向上、工程計画の信頼性向上、高度な溶接技量を要する溶接法への対応が図れる。足元で製造負荷が高まっているファブリケーターさんでは、溶接技術者を短期で育成できないこともあり、生産性向上、能力アップ、品質向上のために採用いただける例が全国で増えている」

「コベルコ建機は低燃費、低騒音（NETIS取得済み）を強みに営業活動を推進する。加えて優遇税制、補助金の活用提案による営業を強化し、上期以上の売り上げを目指す。支店としても協力していきたいと考えている。足元で製品の販売を強化する。情報化施工は、ICT技術を活用した自動制御、ナビゲーションにより高効率で高精度な施工が図れるシステム。また経産省の省エネ建機補助金を活用してNETIS認定機を導入する提案型営業を図る」

「補助金採択条件を情報提供し高効率、高能率な設備を有利な条件で購入いただき、お客様の競争力を強化する方向を目指していきたい」

――最近のトピックスは。

「神鋼ノースのアルミハニカムパネルが北陸新幹線上越妙高駅の東、西口、糸魚川駅北口（日本海口）のシェルターに採用された。土木ではフレア護岸を強化税制が活用できる提案中。全国で9カ所採用されているが、日本海側での採用を増やしていきたい。ロングライフ塗装用鋼板「エコビュー」は橋梁長寿命化に貢献する商品。12年にNETIS登録を取得し、全国で採用に向けワークしてはく離が進まないよう添加元素を工夫した点。橋梁メーカーへ提案と同時に国や自治体など発注サイドへの認知活動を継続している」

――支店の営業モットーは。

「地域のグループ連携強化を図るとともに地域で存在感あるグループを目指す。今後も神戸製鋼グループの製品、技術、サービスを提供することで新潟県に貢献したい」

（杉原 英文）

鉄鋼新聞 11/18付